

ピーナッツの商品をご紹介します



①ピーナッツ〈揚げ塩・素焼き〉
(マルコの蔵など)



②ピーナッツ〈殻付き〉
(マルコの蔵など)



③ピーナッツのペースト
(ちょうほう屋)



④ゆで落花生〈冷凍〉
(ちょうほう屋など)



⑦パリ・プレスト・P
(おかしの平和堂)



⑧ピナンシェ
(おかしの平和堂)

商品の購入・お問い合わせは
各店舗までお願いします。



山形・金山町産 落花生
ピーナッツ
BEAUTIFUL PEANUT



⑤くるビーンズ
(ホテルメトロポリタン山形)



⑥ピーナッツ豆腐
(肴や太郎)



4年目を迎えた金山町産落花生「ピーナッツ」



町と株式会社でん六、山形大学東北創生研究所の3者による「農業振興協定」を締結し、今年度で4年目を迎えました。同時に生産者団体である「金山町新産地開発協議会」を立ち上げ産学官+農として、さらには、新庄信用金庫から支援をいただくなど、各関係機関で連携して、金山町産落花生の栽培に取り組んできました。

栽培を開始した1年目は、生産者8名、43aでの取り組みでしたが、4年目の今年は生産者17名、栽培面積は3.3haにまで拡大しました。4年目を迎えてもなお、毎年新しい問題が生まれ、改めて農業の難しさを感じています。1年目は慣れながらも経験と実績を得ることができ、2年目は金山町ならではの気象条件

による病害虫対策や生育適期日数、乾燥などへの技術開発に着手しました。3年目は殻付き落花生の商品が出せる品質にまで技術が向上した一方で、天候や鳥獣害による新たな課題に直面しました。4年目は機械化による作業効率アップし、鳥獣害対策や連作障害対策の更なる追求を検討しました。この4年間で生産者と関係者が、一緒に課題を分析し、試行錯誤しながら解決策を考え、実行することで、持続可能な産地形成に向けて着実に進歩を遂げています。

一方、金山町産落花生「ピーナッツ」は、新聞、テレビなどでも多く取り上げていただいております。町民の皆さんも目にする機会が多いのではないのでしょうか。今回、紹介したものの以外でも、商品化について検討・交渉中の事案もあり、今後も町の新しい農産物として積極的にPRをしていきたいと考えています。

落花生は他の農産物に比べ、軽作業が多く高齢者や女性にも取り組みやすい作物です。また、ニラ、きゅうりなどに比べ作業時間が少ないこともあり、新規に取り組みやすい品目です。今後とも関係各位のご協力をいただきながら、面積拡大に取り組んでいきます。

～(株)でん六と県立米沢栄養大学による落花生の実証実験～



山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部
健康栄養学科
加藤 守匡 教授

○専門分野
運動・栄養生理学
○研究テーマ等
運動及び栄養が心身の健康に与える影響を脳機能を中心に研究

ピーナッツを食べて気分アップで記憶力改善！

2020年7月から、素焼きの渋皮付き金山町産落花生を1日30g、週5日間の頻度で食べる調査を65歳以上の方に3カ月間ご協力いただき、認知機能や気分、体組成、血中脂質、ストレスホルモンへの影響を検討しました。認知機能はパソコンを用いて9種類の測定から詳細に評価した結果、落花生摂取により言語記憶のスコアが高まりました。言語記憶は、日常生活ではある文字を記憶して、その直後や数十分後に思い出す時に利用されますが、認知症とも関連深い認知機能の一つです。今回の調査からこの改善には落花生の摂取によるストレスホルモン

の増加抑制が関係していたと推察しています。また、落花生摂取期間では沈んだ気分や全体的健康観も改善されており気分的にも良好な状態になることが見受けられました。そして、落花生の習慣摂取による体脂肪率、血中脂質などの変化はありませんでした。地元の落花生を継続的に食べていただくことにより脳や体の健康にも良い作用をもたらしてくれると思っています。ぜひ、皆さんも1日30g程度食べてみて下さい。この調査に御協力いただきました町民の皆さんに心より感謝申し上げます。

INTERVIEW

金山町の新たな特産物「ピーナッツ」定着のために、作る・食べる・売る・買う・語るなど町内外の関係者により着実にブランドが育ってきています。皆様を感じているピーナッツへの期待や将来性の実現のために引き続き弊社もお力添えできるように努めてまいります。

株式会社でん六
企画開発部 豆類研究課
フィールドマン 倉田 大輔



落花生栽培を始めて4年、徐々に面積を増やしながら、転作田での栽培を中心に取り組みを行っています。播種機をはじめ、掘り取り機、脱粒機など栽培に必要な特殊な農作業機器について準備しており、作業受託や機器の貸し出しも行っています。また、(株)でん六からの指導のもと、「ピーナッツ栽培マニュアル」もあり、協議会では新しい栽培者への支援を行います。来年度一緒にチャレンジされる方を募集しますのでぜひご連絡ください。

金山町産課 ☎52-2111
金山町新産地開発協議会
会長 青柳 栄一(橙台)

